

# 発達障害者の感覚統合と五感機能の理解啓発

NPO 法人 発達障害支援アカンパニスト  
〒216-0002 川崎市宮前区東有馬 1-1-35-208

## 助成事業の概要

**4月29日「ちゃんと人と付き合いたい」講師：橋本創一**

将来、自立した成人となるためのソーシャルスキルの必要性とその習得方法を知るために専門分野の講師による講演を開催。

**7月1日「不登校だった僕が生まれ変わった夏休み」講師：溝井啓子**

発達障害の二次障害で不登校となった我が子の不登校を克服するまでの話を元に参加者とディスカッションを通じての理解啓発。

**2月24日「通常級の子どもにもみられる見え方のつまずきとチェック法」**

視覚発達機能についての認知を広げ、つまずきを見過ごされている子ども達の発見、支援、指導につなげるために専門家医師による講演を開催。

## 事業の成果

**4月講演会：**参加人数は目標達成に至らなかったが参加者から自立するために必要なことが具体的に分かり参考になったという感想が多く聞かれた。

今後の課題としては広報方法、チラシの見出し等を改善し、より多くの参加者を集う。

**7月講演会：**実体験の話から参加者の共感と安心感を生み、ディスカッションからも参加者同士の繋がりができた。

**2月講演会：**講演会テーマのニーズが高く、当初予定していた定員を大幅に超える参加申し込み

があったため会場を変え 342 名の参加者を集うことができた。教育委員会の協力により学校への配布がスムーズに行えたため一人でも多くの教諭または保護者の方へ配布できたことにより、今回の参加者に導けたと思っている。そのため、今回はアンケートを作成し今後のニーズ、活動に活かしていく。

今回、発達障害者の感覚統合と五感機能の理解啓発を目標にしてきたが、3回の講演会を通して多くの方に発達障害者の五感機能からくるつまずきの部分を理解していただける機会を作ることが出来、目標を達成したと実感しています。

## 成果の広報、公表

今回の成果の広報として、講師の先生方や来賓の方々、後援をいただいた 神奈川県教育委員会・千葉県教育委員会・川崎市教育委員会・社会福祉法人 青い鳥・神奈川県発達障害者支援センター・かながわ A への報告書提出及びアンケート集計にてお知らせをしていきたいと思っている。

## 今後の展開

2月の講演会に関して、参加者は多かったものの学校へのチラシの配布の為、印刷費・配送費が多くかかり、今後の課題として残るが、チラシの配布部数を減らしかつ皆様のニーズに合った内容での開催を検討していきたいと考えている。

今回の3つの講演会から保護者、支援者、教育機関のニーズが、子どもへの関わり方だけでは

なく教育的観点や先の見通しについての情報にあることが再確認できた。来年度は、月 1 回それぞれのニーズに応じたテーマで専門講師を呼び勉強会を開催する。